

特集:新たなビジネススタイルを生むペーパーライター

Special Feature

手書きの簡便性と デジタルの利便性を融合。 カシオならではの付加価値で 新たなビジネススタイルを。

ビジネスの最前線において、IT化が進んだ現在でもノートやメモなどに手書きされた情報は、未だその姿を消すことはありません。それら紙文書の情報を素早くデジタル化し、情報整理や検索時における利便性を高め、より有効活用できる情報に変えるタブレット端末、『ペーパーライターV-N500』を紹介します。



カシオ計算機株式会社
八王子技術センター
システム事業部 開発統轄部長
西谷 耕司



Paper Writer V-N500



ビジネスに使う「モノ」ではなく ビジネスで新しく「できるコト」を提案

紙文書には、ビジネスの現場で文字や図形を自在に書き込める利点がありますが、その一方で、整理や保管が煩雑で、必要な情報を探し出しにくいという側面があります。新たに開発した『ペーパーライターV-N500(以下、ペーパーライター)』は、カシオが得意とするデジタル技術によって、紙文書をイメージデータに変換しスケジュールソフトなどと連動して保存することで、検索性を飛躍的に向上させたタブレット端末です。

ビジネスでは、時間、取引先、議事が重要な要素です。これらを自然な形でリンク付けして、ビジネスの生産性を高めるシステムが、『ペーパーライター』です。クラウドと同期したスケジュール・名刺管理、画像として取り込んだ文書、それらを自動的に相互に関連付けて、取引先別の商談経緯として整理したり、関連の議事録から商談の作戦を立てたり、関連の書類をリンクして、打ち合わせの場面での質問にも

即答できます。また、商談時のメモを『ペーパーライター』で、直ちに上司に送信して報告し、ビジネスのスピードアップもできます。つまり、『ペーパーライター』は、単なるタブレット端末という「モノ」の提供にとどまらず、ビジネスの現場に新たな「できるコト」を提案する新発想のツールなのです。

Voice

カシオならではの技術によって 多様で高度なニーズに対応

『ペーパーライター』におけるカシオらしさとは、データの取り込み作業を搭載カメラでの撮影によって行うことで容易にしたことが挙げられます。データの取り込み作業が煩雑になってしまうと、ビジネスの

現場で実際に活用していただけません。今回は、紙を撮影するために最適化したカメラを開発し、ページをめくる動作を感知して次々と自動撮影する機能や、名刺をOCR認識する機能を盛り込みました。また、タフネスウオッチ『G-SHOCK』や在庫管理などに使う情報端末（ハンディターミナル）で培ったタフネスさを活かすとともに、非接触充電方式を採用し接点不良による充電トラブルを解消するなど、多彩なビジネス現場のハードな要求にお応えしています。

『ペーパーライター』は、新たなビジネススタイルを提案するツールとして、今後はグローバルでも展開していきます。



ペーパーライターV-N500の業務用途例

訪問営業支援

商談しながらレポート用紙に記入した商談内容を撮影してイメージデータとして保存し、活用することができます。必要に応じて会社（上司）にメールし、商談中に素早い判断を仰ぐこともできます。



できるコト

- 商談メモを撮影し、デジタル化して保存
- 商談中にメモを上司にメールして判断を仰ぐ
- メモの内容を「やること」「アイデア」などのマークによって分類し、事後に検索して必要な情報を抜き出す

保守支援

保守業務では、点検等を終えたあとにお客様に点検結果のレポートを提出します。『ペーパーライター』であれば、複写用紙を使用せずに、レポートの原本はお客様にお渡しし、控えをイメージデータで保管するスタイルに変えることができます。



できるコト

- 複写用紙を使わずに点検レポートを作成し原本はお客様に提出し、自社控えは撮影して保管
- メーター情報などをイメージデータで記録